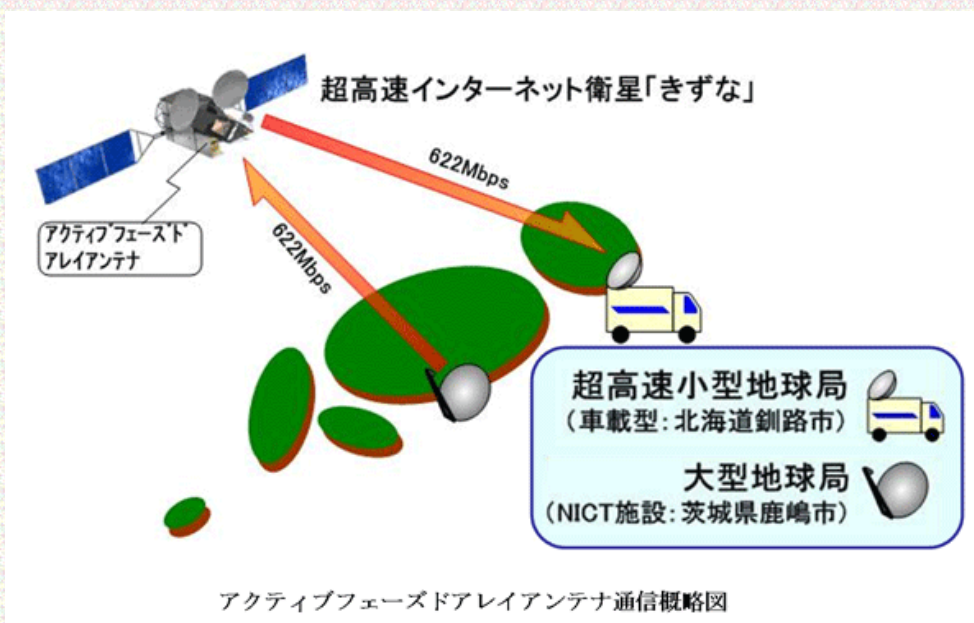


- 超高速インターネット衛星「きずな」(WINDS)  
広域電子走査アンテナによる622Mbps衛星データ通信に成功

- 2008年5月16日

宇宙航空研究開発機構(JAXA)と情報通信研究機構(NICT)は、5月12日に共同で実施した「きずな」初期機能確認作業において、「きずな」に搭載した広域電子走査アンテナ(Ka帯アクティブフェーズドアレイアンテナ)(\*1)を使用したNICT鹿島宇宙技術センター大型地球局(アンテナ径約5m)と北海道釧路市の超高速小型地球局(車載型:アンテナ径約2.4m)との622Mbpsの高速データ通信に成功しました。これは広域電子走査アンテナを使用した通信の世界最高速度です。

特にKa帯アクティブフェーズドアレイアンテナは、日本国内のみならず地球上のほぼ3分の1の地域を通信範囲とし、アジア太平洋地域にブロードバンド環境の提供を可能にします。都市部との情報格差解消や離島での自然災害時の回線確保に向け、「きずな」に搭載された同アンテナを使い、電波の方向を自由に、かつ高速制御するための技術実証が期待されています。



\*1) 約2ミリ秒で電子的にビームの方向を変えることができ、地球上のほぼ3分の1の地域を通信範囲とします。

<NICT広報問い合わせ先>

独立行政法人情報通信研究機構  
広報室 栗原 則幸

〒184-8795 東京都小金井市貫井北町4-2-1  
Tel: 042-327-6923 Fax: 042-327-7587

<JAXA問い合わせ先>

独立行政法人宇宙航空研究開発機構  
広報部 報道グループ

〒100-8260 東京都千代田区丸の内1-6-5  
丸の内北口ビルディング  
Tel: 03-6266-6413~7 Fax: 03-6266-6910